

■科目名

保育学II

Early childhood care and education II

■開設年度

2021

■区分

幼稚園科目

■学科名

家政科

■分類

■単位数

2

■履修期

4期

■履修条件

■開講期

後

■担当教員

金 娟鏡

■代表教員名及び連絡先等

ykim@edu.kagoshima-u.ac.jp

■オフィスアワー

木6限（17:50-19:20）

※事前に来室の予約をしていただくと幸いです。

■講義の概要（目的・内容・方法）

幼児教育・保育の原理と方法について、現場での実践を取り上げながら解説する。また、幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領の要点を概観するとともに、幼児教育・保育のあり方について考察する。

■授業の到達目標及びテーマ

子どもの育ちに応じた教育・保育を行うために必要な基本的な事項を説明することができる。

■授業計画

※本年度は原則、遠隔授業で行います。

第1回：乳幼児期とは【リアルタイム配信 Zoom】

第2回：幼児教育・保育の形態【課題提示による授業】

第3回：幼児教育・保育の方法（1）環境を通して行う保育【リアルタイム配信 Zoom】

第4回：幼児教育・保育の方法（2）個と集団の育ち【リアルタイム配信 Zoom】

第5回：幼児教育・保育の方法（3）基本的生活習慣【リアルタイム配信 Zoom】

第6回：幼児教育・保育の方法（4）遊び【リアルタイム配信 Zoom】

第7回：幼稚園教育要領等の内容【課題提示による授業】

第8回：現場の事例（1）絵本の読み聞かせとICT活用【リアルタイム配信 Zoom】

第10回：現場の事例（2）遊びの生成と展開【リアルタイム配信 Zoom】

第11回：現場の事例（3）気になる子・障がい児の保育【リアルタイム配信 Zoom】

第12回：保育者の言葉かけ【リアルタイム配信 Zoom】

第13回：指導計画の書き方と実際【リアルタイム配信 Zoom】

第14回：未就園児保育および預かり保育【リアルタイム配信 Zoom】

第15回：幼児教育・保育から初等教育へ【課題提示による授業】

■授業外学習（予習・復習）

【予習】次回の授業内容に関連するキーワードを調べておくこと。

【復習】授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理すること。

■受講要件

家政科生および幼稚園教諭免許取得予定者に限る。

■成績の評価基準

リアクションペーパー(30%),小レポート(30%),確認レポート(40%)より評価する。

■教科書・参考書

教科書：

特に使用せず、必要に応じて配布資料、参考書を用いる。

参考書：

『あたらしい幼児教育課程総論 第二版』（2021）岸井勇雄・横山文樹，同文書院

『幼稚園教育要領解説』（2017），文部科学省

『認定こども園教育・保育要領』（2017），内閣府・文部科学省・厚生労働省

■教師としての資質能力に関するチェック項目

2. 教育の理念、制度、歴史等に関する理解

【A教職の理解】教育の理念を理解し、教育の制度や歴史・思想に関する基礎的な知識を身に付けている

3. 教育方法に関する理解

【A教職の理解】教育方法の理論に関する理解を深め、複式指導や少人数指導、教材開発や活用、授業分析など、指導法や授業改善について理解している

9. 学習者の心理・発達に関する理解

【C学習者理解】子どもの発達や心理など、子ども理解のための基礎的な知識を身に付けており、それらを生かして子どもの発達を分析することができる

12. 学級経営に関する構想力

【D構想力、展開力、評価力等】学級経営の在り方に関する基礎的な知識を身に付けており、学級等の集団及び集団と個のかかわりなどについて構想することができる

アクティブ・ラーニング

振り返り(ミニッツ・ペーパー等)；

アクティブ・ラーニング(その他)

アクティブ・ラーニング(授業回数)

15回中12回

■実務経験のある教員による実践的授業

■その他

COVID-19の状況によっては、授業計画が変更されることがあります。